

# 伊豆市議会議員 小長谷順二 市政報告 通信

Vol.26 2019.7



小長谷順二 後援会事務所  
伊豆市土肥 450-7  
TEL/FAX 0558-98-0400  
http://konagayajunji.web.fc2.com/  
Email photo-ko@yc5.so-net.ne.jp

facebook

小長谷順二 検索

盛夏の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平成から令和へ…新たな時代がスタートいたしました。令和の意味するごとく「希望に満ち溢れた新しい時代を切り開いていく所存」でございますので、これからも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

伊豆市議会 6 月定例会は、オリンピック関連の補正予算や消費税増税による条例改正などの議案が上程され、各常任委員会審査を経て 6 月 27 日の本会議においてすべての議案は原案どおり可決されました。

指定管理者の変更に伴って休園していた伊豆市の観光施設「修善寺虹の郷」が大型連休初日 4 月 27 日にリニューアルプレオープンしました。新たな指定管理者になったシダックス大新東ヒューマンサービス(株)はグループ会社である中伊豆ワイナリーヒルズで培ったノウハウも生かしながら、地域を活性化する施設づくりを目指し、9 月にグランドオープンを予定しています。地元の人たちに愛されるとともに、伊豆の観光拠点の一つとして、多くのお客さまに喜ばれる施設になっていくことを願います。

## 令和元年 6 月定例会 一般会計補正予算

・プレミアム付き商品券事業 (6/3 可決)	5,705 万円
・風疹追加的対策事業費補助金(6/3 可決)	6,745 万円
・牧之郷地区計画地区施設整備支援補助金	5,000 万円
・修善寺駅クールミスト設置工事費	150 万円
・修善寺駅南口車道分離帯改修工事	170 万円
・子供・子育て支援システム改修業務	9,988 万円
・公立子ども園給食業務委託 (3 年間)	1 億 6,050 万円
・消防団員退職報奨金	255 万円

## 令和元年 6 月定例会 条例の制定・一部改正

- ・伊豆市消費税及び地方消費税引き上げに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- ・伊豆市牧之郷地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定について
- ・伊豆市土肥地区温泉事業運営協議会条例の一部改正について
- ・伊豆市国民健康保険税条例の一部改正について
- ・伊豆市税条例の一部改正について
- ・伊豆市介護保険条例の一部改正について

## 駿河湾フェリーの運航体制について

6 月 1 日、県と駿河湾沿岸の 6 市町でつくる「一般社団法人ふじさん駿河湾フェリー」による新体制での運航が始まりました。清水港で第 1 便の出発式を行い、土肥港では伊豆市をはじめ西海岸の地元関係者が出迎えをしました。

県民や関係団体等の事業継承の熱い思いに応え、地域に多大な経済効果をもたらす重要な社会基盤であるフェリーの安定的な運航のため、当面の目標である年間輸送人員 20 万人の達成に向け、一般社団法人を中心に県・関係市町、関係団体と連携して事業推進に取り組んでいきたい。



粹鼓伝 歓迎太鼓でお出迎え

## 静岡県消防協会田方支部 消防操法大会

5 月 26 日、伊豆市修善寺 虹の郷駐車場で、県消防協会田方支部 消防操法大会が開かれました。支部管内の熱海、伊東、伊豆、伊豆の国、三島、函南の 5 市 1 町から選手が出場し、機敏な動きで日頃の訓練成果を競いました。そしてポンプ車操法部で伊豆市消防団 第 13 分団が準優勝しました。

13 分団は昨年の 11 月からこの大会に向けて土肥金山駐車場で夜間訓練を実施し、伊豆市の代表として努力を積み重ねてきました。この経験を活かし地域の安全・安心のため、更なる消防団活動にご尽力いただけることを願っています。



準優勝 13 分団ポンプ車操法

## 第25回

小長谷順二 市政報告会開催  
令和元年7月17日(水)PM7時～  
伊豆市土肥支所 4F 読書室

6 月 16 日に、土肥・小土肥地域づくり協議会主催による講演会を開催しました。講師は土肥高校を初任校として過ごされ、その当時体験した土肥の人たちとの人情と絆を背景に、若い高校教師の成長と恋を描いた小説「船原峠」を昨年の秋に静岡新聞社から出版された横澤幸仁氏です。会場は土肥高校の教え子や地域住民など、大勢の入場者で賑わいました。そして、まちづくりのご提案も頂き、教育行政の専門家としてご協力いただけるとのお話をいただきました。



# 小長谷順二の一般質問（6月定例会 令和元年 6月5日）

## 1. 公立高校の魅力高める地域づくりへの支援

**Q** 静岡県内外に地域の魅力を発信し、入学生を募集することは地域の子供達に適度な刺激や競争が生まれ、多様な価値観を醸成することができ、低下しつつある地域持続性を高めることにつながると考えています。伊豆総合高等学校土肥分校の魅力高める取り組みについて伺います。

**A** 土肥分校となり商業科も無くなったので、非常に危機感を持っています。国も地域に根ざした多様なカリキュラムを提言しており、県内でも静岡県立大学、静岡文化芸術大学の観光コースの交流プログラムで、伊豆半島で必要な人材育成と土肥キャンパスそして大学との連携による7年間教育のあり方等について県の教育委員会が事務局となり、昨年9月に土肥分校魅力化推進協議会を立ち上げ魅力を高める取り組みについて検討を行っています。

**意見** 静岡県内外から生徒を募集し、観光人材、特徴のある部活動、寄宿舎の整備、公営塾、ICTを駆使した先進教育などを取り入れ、土肥分校の存続と地域の活性化につなげる取り組みを期待しております。



伊豆総合高等学校 土肥分校

## 2. 新基準における「ふるさと納税」の推進

**Q** ふるさと納税の新制度が6月から始まりました。新基準は寄付募集の適正な実施、返礼品の調達費が寄付額の30%以下、返礼品は地場産品の3つに適合した自治体を総務省が対象に指定する仕組みになっています。統一されたルールに於ける目標額と目標達成のための取り組みについて伺います。

**A** 自主財源が厳しい本市にとって貴重な財源となっております。令和元年度は4億円を目標に事業を推進していきます。担当課は財務課ですが、産業振興協議会の知恵を借りながら、ふるさとチョイスなどのポータルサイトに戦略的なPRや高額な返礼品についても検討していきたいと思っています。現在40%の方がリピーターとして毎年伊豆市に納税をしてくださっており、今後は魅力ある返礼品の組み合わせも検討し推進していきたいと考えています。

**意見** ふるさと納税の目標額達成のために、更なる工夫やプロモーションを行い、市が抱える課題解決の財源となる「ふるさと納税制度の充実」を図っていただきたいと願っています。



ふるさと納税 返礼品

## 3. 観光地のトイレ環境

**Q** トイレの洋式化は進んできていますが、特に公衆トイレの環境について、多機能トイレを併設するなど、幅広い利用ができるような取り組みを広げる必要性を感じています。実態を把握し、優先順位をつけて計画的に取り組んでいくべきと考えますが、見解を伺います。

**A** 日本のトイレは世界でブランド化されており、外国人の期待値を下回った時のネガティブな評価が懸念されます。したがって観光地のトイレは綺麗で清潔で、しっかりと管理されていることは優先順位が高いので、市としてもしっかりと整備をさせていただきます。しかし管理については地元の観光協会の支部やその地域でしっかりと行って頂きたいと思っています。その中で地理的に良いバランスで、レベルの高いトイレが配置できることに期待しています。

**意見** 維持管理を含む、公衆トイレに関する検討協議会を立ち上げ議論している自治体もあります。他市町の観光地の事例も参考に、伊豆市に於いても公衆トイレのあり方について再度検討し、トイレ環境の充実を図っていただきたいと思っています。



新設された米崎の公衆トイレ